

リサーチグループ登録届出書

令和 2 年 12 月 23 日

1. リサーチグループの概要

リサーチグループの名称 質的分析 AI

リサーチグループの名称(英語) Qualitative analysis AI

分野 (1.人文系、2.理工系、3.生物系、4.複合系) 4

設置開始時期 2021 年 1 月

設置終了時期 2022 年 12 月

2. リサーチグループ代表者

所属・職名 図書館情報メディア系・助教

氏 名 照山 絢子

氏名(英語) Junko Teruyama

3. 連絡先

所属・職名 図書館情報メディア系・助教

氏 名 照山 絢子

電 話 _____

F A X _____

E - m a i l teruyama@slis.tsukuba.ac.jp

4. 担当部局 (当該リサーチグループの運営等を管理する部局名)

図書館情報メディア系

5. 構成員一覧について

氏 名	所属部局	職名	専 門	学位	役割分担
照山絢子	図書館情報メディア系	助教	文化人類学・医療人類学	Ph.D	データ収集・調査実施
上保秀夫	図書館情報メディア系	准教授	情報検索・人間情報インタラクション	Ph.D	モデル構築・システム評価
若林啓	図書館情報メディア系	准教授	統計的機械学習・対話システム・ソーシャルメディア解析	博士 (工学)	システム設計・評価

共通様式③

6. 科研費細目番号	主なものから順番に3つまで記載してください。		3501	1204	1303
7. キーワード(5つまで)	質的分析	自然言語処理	機械学習		
8. キーワード(英語)	Qualitative analysis	Natural language processing	Machine learning		
9. 研究グループ HP	URL を記載してください。	設置予定なし			
10.研究グループ概要(1000字程度)					
本研究グループは、質的調査におけるデータ分析に機械学習システムを導入することによる効率化を目指すとともに、機械学習システムを通じて質的調査のデータ分析プロセスを明らかにする。					
11. 研究グループ概要(英語)					
Our research group aims to enhance the efficiency of qualitative analysis through the application of machine learning, while also uncovering the processes of qualitative analysis through the machine learning system.					
12. 設置の目的及び必要性					
質的調査におけるデータ分析については、グラウンデッドセオリーアプローチなどいくつかの確立された手法があるものの、実際の運用において大部分が調査者個人の技能と経験に依存しており、そのプロセスはブラックボックスとなっている。本研究グループは図書館情報メディア系の学際性を活かし、分野横断的にノウハウと技術を結集することで、機械学習システムを導入してこうしたプロセスの一端を明らかにするとともに、それを支援し、効率化するための方策を検討する。					
13.研究計画					
(1) 本グループ内でのディスカッションを通じて質的調査におけるデータ分析に資する機械学習システムのプロトタイプを開発する。 (2) 質的調査を実施している研究者を学内外よりリクルートし、プロトタイ					

プの実験的導入・評価を行う。

（３）上記（２）のフィードバックを受け、システムの改善を図りつつ、運用範囲を拡大する。

（４）システムの教師あり学習から集約されるデータを用いて、質的調査の分析プロセスを明らかにしていく。

14. 研究・教育に期待される効果（箇条書き）

- ・（研究）高度で複合的な機械学習システムの開発を通じた、学術研究における機械学習の応用可能性の拡大

- ・（研究）質的調査を行う研究者に対する、分析プロセスを支援するシステムの開発

- ・（教育）質的調査を学ぶ学生に対する、分析プロセスの見える化・技能向上支援